

2023/11/20（月）

朝の礼拝

聖書 コリントの信徒への手紙Ⅱ 4章 6節（新約聖書329頁）

「闇から光が輝き出よ」と命じられた神は、わたしたちの心の内に輝いて、イエス・キリストの御顔に輝く神の栄光を悟る光を与えてくださいました。

温かい灯火

私は夜中に起きた時は手探りでスマホとメガネを探します。エアコンや蛍光灯のリモコンも手探りでスイッチを入れます。暗闇で何かを手探りで探すのにたとえて「暗中模索」という言葉があります。周りが見通せない、手がかりのない状態から脱出する、自分の道に戻るためにもがいていることを言います。

私の父は筆まめで、スマホのない学生時代からずっと励ましの便りを送ってくれました。私は父によく「人生至るところに青山あり」や「暗中模索」と書きました。それは今も変わりなく、どこで骨を埋めてもいい覚悟で、歩みは遅いですが学び続け、祈り続け、自分の道を求め続けています。

神様の第一声は「光あれ」でした。それで創造された動物や植物、そして人間もお互いの存在を見ることができるようになりました。ところがクマや動物の生息地に先に土足で入ったのは人間でした。それで人間は自らを危険な状態にしました。そして人間同士も隣人の土地や作物を妬み、奪い合うようになりました。

いま世界は、人類は、地球はカオスの、闇の状態です。でも神様はそれを二千年以上前からご存じで、私たちを照らす光として、私たちの道として、救い主を送って下さいました。そして私たちに感謝を献げ、互いに愛する喜びを与え続けています。嘆くだけでなく、小さくていい、温かい灯火をつけましょう。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、あなたは私たちの灯火として救い主を送ってくださいました。今週は英和女学院136周年を迎えます。また12月3日からはアドベント、救い主誕生の日を待ち望む季節となります。どうかあなたによって選ばれた英和生に学ぶ喜びと感謝を与え、あなたに照らされ、あなたの慰めと励ましを与える灯火と成長させてください。どうかひと時でも早く愚かな争いを止め、幼いのちが守られますように、あなたの平和のためにわたしたちを用いてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン